

Matterとは

近年、急速に市場規模が拡大しているスマートホーム。家電やセキュリティシステムなどを遠隔で管理でき人々の生活の快適性や効率性の向上を図ることができますが、スマートホーム機器同士の互換性の欠如が課題となっていました。2022年10月に発表されたスマートホームの為の共通規格「Matter」は、この課題を払拭する革命的な存在です。

本ウェビナでは、スマートホームの概要や市場規模、「Matter」の必要性と導入までの基礎知識を解説いたしました。

スマートホームの利点と課題

IoTやAIなどを活用して、家電や住設機器を自動化、遠隔操作する事で人々に利便性を与える住宅をスマートホームといいます。スマートホーム化により、ユーザは外出先から遠隔でエアコンや照明の操作ができ、ペットや高齢者の見守りにも活用することができます。また、スマートフォンやAIスマートスピーカーを使用して、機器毎のリモコンを一つに集約して音声操作をすることで、生活をより豊かにしてくれます。

一方で、各スマートホーム機器メーカーはそれぞれのプラットフォームによる囲い込みをする等、機器同士の互換性、運用面が課題となっていました。メーカー毎に通信規格やプロトコルが異なることで機器同士の連携ができず、ユーザは使いづらさを感じるようになってしまいます。

Matterの通信動作を実機を用いて説明

Matterの規格策定は、アメリカの大手IT企業をはじめとする280社以上が参加している無線通信規格標準化団体（CSA）が行っています。発表から3年でMatter1.5までアップデートが進み、対応するアプリケーションが増えて続けています。

ウェビナではMatterのプロトコルやネットワークの構成等の基礎知識を解説するとともに、実際に自社製品をMatter対応する場合の認証等、開発を進める上で必要となる情報を紹介しました。また弊社で開発をしたMatter POCによる通信動作もご確認頂きました。

ルネサスエレクトロニクスのMatter用SDKサンプルやMatter対応Wi-Fiセンサソリューションを使うことで、ユーザは容易にMatterをお試しいただけます。

ご興味のある方は、是非弊社までお問い合わせ下さい！

■ 本日の登壇者 ■

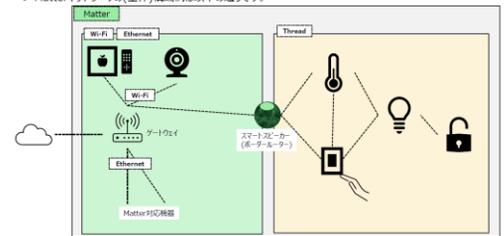


株式会社リョーサン
デバイス第一事業本部

高橋 慶

2.Matter規格の概略

● Matterネットワークの(全体)構成例は以下の通りです。

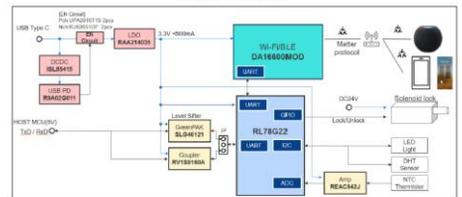


Matterネットワークの全体像

出所：投影資料より一部抜粋



Matter POC実機



ブロック図

リョーサンオリジナルのMatter POC紹介

出所：投影資料より一部抜粋

[他記事、ウェビナ情報はこちら](#)



エンジンによりそらマガジンサイト